

いつ、どこで起こるかわからない、地震の国。
だから、家族の安全を守るために、そなえる。

「地震に負けない家」



SUPER WALL
制震スーパーウォール 誕生

SUPER WALL 制震スーパーウォール

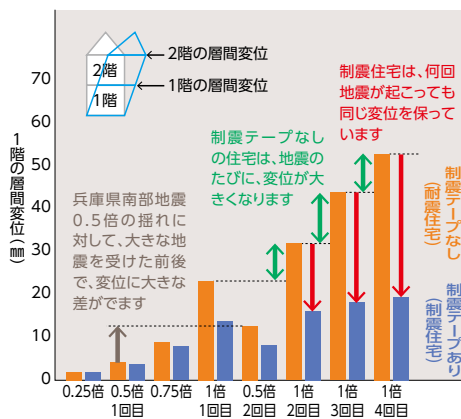
特許出願中

高耐震な住まいとして、発売以来、地震による全壊ゼロの実績を誇る「スーパーウォール工法住宅」。そのさらなる安心のために、制震機能を取り入れた「制震スーパーウォール」を新たに開発しました。大きな地震、くり返す余震から、家族の安全を守る、地震に負けない家を実現します。

安心の3大メリット

1 くり返しの地震に強い

制震でない住宅は、大きな地震に遭った後、揺れの回数が増えるごとに建物の変形が大きくなります。それに比べて制震住宅は、何度揺れが来ても変形が進みにくく、本震だけでなく、くり返しの揺れ、余震にも強い住宅が実現できます。



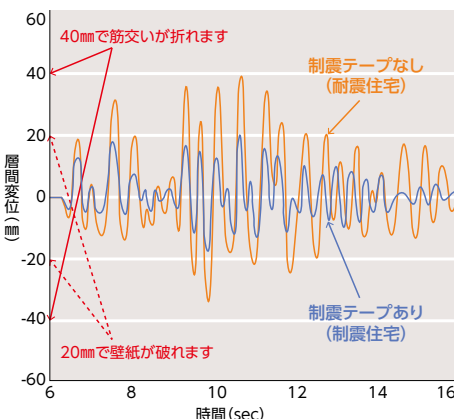
兵庫県南部地震に対する入力倍率と実験回数

※防災科学技術研究所での実物大振動実験結果より

2 建物の変形量を約1/2に低減※

地震による建物の揺れ幅を比較してみると、制震でない住宅の揺れ幅に比べ制震住宅の揺れ幅はおよそ1/2。制震でない住宅が40mm変位して筋交いが折れるのに対して、制震住宅は20mmの変位で壁紙が破れる程度の被害という実験結果となりました。

※プランや地震の揺れによって、変形量の低減は異なります。

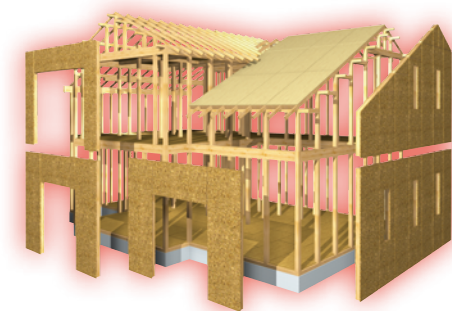


1Fの層間変位の時刻歴(1倍・2回目)

※防災科学技術研究所での実物大振動実験結果より

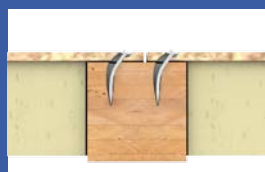
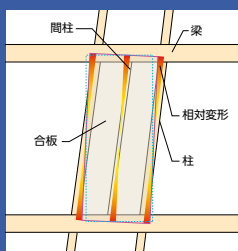
3 家がまるごと制震装置

制震装置を部分的に配置する制震とは異なり、建物の構造パネルに制震機能が加わることで、建物の一部に負荷がかかることなく、家全体で揺れを抑え、大きな地震に対しても粘り強い住宅となります。



制震スーパーウォールのメカニズム

大地震によって建物が振動すると、柱・梁などは変形しますが、構造用パネルは変形しません。このズレが釘抜けや緩みを起こす原因ですが、制震スーパーウォールは、ズレを利用することで、建物を地震に強くすることができます。



制震テープなし

釘の曲がりが大きく、釘まわりの材材の穴あき範囲が広がり、強度が低下します。



制震テープあり

制震テープにより、柱とSWパネルが強固に固定され、釘の曲がりを抑えます。

制震テープが地震の揺れのエネルギーを熱エネルギーに変えて吸収します。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL公式サイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記公式サイトからご確認ください。

●仕様は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
●本カタログ掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。

販売地域:東北以南